



2023年3月30日

株式会社 阿波銀行

株式会社イゲタプロテックの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社イゲタプロテック（代表取締役 秋山 剛志、本社：香川県綾歌郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社イゲタプロテック
所在地	香川県綾歌郡綾川町千疋 4197 番地 7
代表者	秋山 剛志
業種	バッチャープラントのレンタル・販売・製作業
設立	1970年4月2日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年3月30日



株式会社イゲタプロテック 代表取締役 秋山 剛志

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。	① 使用済機器の販売・リース廃棄物を減らし再資源化	8 働きがいも経済成長も	13 気候変動に具体的な対策を
			② 使用済み円形ライナープレートの買取・修繕・再販を年2回以上	12 つくる責任 つかう責任	
経済	DXの推進	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により働き方改革や業務の効率化、ビジネスモデルの変革に取り組めます。	① 社内外の業務を問わず、積極的にITを活用チャット機能、勤務時間報告、動画・画像を用いて現場との連携強化	8 働きがいも経済成長も	
			② 社内携帯付与者の80%に社内スマホを支給し生産性向上	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。発生防止にむけて様々な取組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	① 勤務間インターバル制度の導入（帰社後、原則10時間）	3 すべての人に健康と福祉を	
			② 年1回、制度の利用状況を確認	8 働きがいも経済成長も	
社会・経済	SDGsの取組みの表明	会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。	① SDGsの取組みのホームページでの情報公開	8 働きがいも経済成長も	
			② 2023年中にHPに掲載	17 パートナリシップで目標を達成しよう	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。